



ふれあい

2014.8

Vol. 4



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団
豊美会

田代台病院 ・精神科・神経内科・内科

発行責任者：院長 中邑義継 〒754-0122 山口県美祢市美東町真名2941番地 TEL 08396-5-0301 FAX 08396-5-0861

病院理念

心や生活機能に障害をかかえるお年寄りの治療の為に、
職員一同が、家族や地域の方々と連携しながら、
医療、看護、介護や啓蒙を総合的に提供していきます。

看護理念

「和」の精神のもと、患者・家族・地域の皆様の
期待に応えられる看護を提供します。



田代台病院は、よりよい医療を提供
していくために、日本医療機能評価
機構の認定を取得しています。

「おもてなし看護」をテーマとして

看護の日準備委員会

今村直美 山崎久美子

「21世紀の高齢化社会を支えて行くために、看護の心、ケアの心、助け合いの心を一人一人が分かち合うことが大切である」という思いを込めて、ナイチンゲールの誕生日に因み、1990年に5月12日が「看護の日」として制定されました。以来現在まで、テーマを「看護の心を皆の心に」として、全国各地で様々な行事が開催されています。

田代台病院でも、5月12日と13日の2日間に「おもてなし看護」をテーマとして、記念行事を行いました。「おもてなし看護」とは、入院という環境の下で、何かと不自由を強いられている患者さんに対して、入院される以前には普通に行っていたことを体験して頂き、若い自分を思い出し、喜んで頂くこと、そしてまた、ご家族や地域の方と患者さんや職員と一緒にふれあい、非日常の時間を楽しく過ごせるように援助することです。

毎年恒例のおしゃれコーナーは、プロのメイクボランティアの方によるお化粧を体験して頂くもので、多くの催し物の中でも、患者さんやご家族は毎年一番楽しみにされています。患者さんは、メイクにより変身した自分の顔を見つめながらとても嬉しそうな表情や輝いた笑顔をされ、ご家族もその表情や笑顔を見て一緒になって感動し喜びを味わっておられました。

このような行事を通して、当院看護職員の大切にしている患者さんに寄り添い支えていくという看護・介護の姿勢を皆さんに知って頂き、また、日頃の感謝の気持ちを伝える記念行事となりました。



“できる作業・やりたい作業”

を増やします



作業療法では私達が日頃の生活で行う全てのことを作業と言います。寝る、食べる、歩くといった日常生活において基本的な事から仕事や家事、旅行や宴会まで色々な事を含みます。



普段、私達は何気なくしている作業ですが、高齢になったり認知症になったりすると“できる作業・やりたい作業”が減り、作業の機会も減ります。「危ないから」と周囲が心配するあまり、その人が今までしていたことをさせないようにすることで、その人の役割や生きる意味が失われていきます。



私達、作業療法士はその人が生活の中で培った“できる作業・やりたい作業”をしっかりと見極めて、その人にとって意味のある作業を探し出します。そして、できる方法や環境を整え、作業の機会が増えるように援助していきます。



作業を通じて生活の質を高め満足度をあげることは、意欲の向上や情緒の安定につながります。また、生活リズムが整うことで、認知機能や身体機能、生活動作の維持・向上という治療効果も得られます。その結果“できる作業・やりたい作業”が増え、作業の機会もさらに増えていくという良い循環を生み出すことができます。私達はこの良い循環の中でその人がその人らしく、もう一度役割を持ち笑顔のある穏やかな生活が送れるよう心がけながら作業療法を行っています。



診療部 作業療法科



認知症 ケアのポイント

今回の テーマ

【食事中のむせ込み】

田代台病院 精神科看護・介護勉強会 認知症部会

食事にむせ込んだ経験はありませんか？これは、食べ物が気管内（空気の通り道）に誤って入ってしまったために起こる症状です。多量の食べ物が気管に入ると誤嚥性肺炎を起こしたり、食べ物が詰まり窒息する危険性もあります。認知症の人の中には、このような症状を繰り返す人が多くみられます。

今回は食事中のむせ込みの原因と、その対応の一例をご紹介しますと思います。

I. 主な原因

- 眠いままの状態でする
- そわそわして食事に集中できない
- かき込むように急いで食べる（早食い）
- 一度に多くの食べ物を口に入れる
- 十分噛まずに飲み込む



II. 対応の方法

- 本人が目覚めている事を確認する
- 食事中はテレビやラジオを消し、食事に集中できる静かな環境をつくる
- 少量ずつ小皿に分けて、小さいスプーンや箸を使う
- 食べやすい大きさにおかずを刻む
- 一皿ずつコース料理のようにゆっくりと皿を出す
- お茶や味噌汁などの飲み物にトロミをつける



III. その他

虫歯があったり入れ歯が合わないとう食事が上手く食べられない事があります。虫歯の治療や入れ歯の調整など口の中のケアが大切になります。



認知症の人には
それぞれに合った食事の
工夫を行い、リラックス
した雰囲気です事を楽しく
食べてもらいましょう。



デイ・ケア なごみ通信

～コヨリ作り～



6月末頃から、なごみでは七夕や夏祭りに向けて、コヨリ作りを行っています。簡単そうに見えますが、やってみるとちぎれたり太くなったりと職員は大苦戦。コヨリ作りが始まると利用者さんが先生、職員が生徒になってコヨリ教室となっています。「その手つきじゃ、つまらん！」となかなか厳しい先生方ですが、得意なことを教えている姿はとても生き生きして、表情も輝いておられます。そんな先生の指導を受ける職員は、最近ようやく、「まあ、ええことにしよういね」と合格を頂けるようになりました。



認知症の方は出来なくなることが多くありますが、コヨリ作りや包丁を使う等、「体で覚えている」ことは自然と出来る場合があります。よく昔取った杵柄と言いますが、「出来ること」を見つけて活かしてあげることが大切です。

また、新しいことや趣味を始めてみることも、脳への刺激や活性化につながります。ぜひ、新しいことにもどんどん挑戦してみてください。

作業療法士 上田 貴弘

「第11回田代台病院夏祭り」のご案内

開催日時：平成26年8月23日（土）18:00～20:00

開催場所：当院東病棟前広場（雨天時：西病棟ホール等）

催し・露店等、多数準備しています。
たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

山口県鴻城高校衛生看護科 1 年生基礎看護臨床実習指導を終えて

看護主任 中村 美津子



7/22～7/29 まで 47 名の実習生を受け入れました。皆さん初めての病院実習で初日はとても緊張した表情でしたが、2日目には患者さんとコミュニケーションがとれ、笑顔で接している光景を目にすることがありました。また看護学生らしく清潔感があり、真剣に実習に取り組む姿が印象的で、私自身の病院実習の

ことを思い出し初心に戻ることができました。最初の病院実習を終え、これから一步一步確実に看護師への道を歩んでいってほしいと願っています。



編集 後記

うだる様な暑さに皆さん、へたばり気味ではありませんか。8月7日は立秋、暦の上では秋です。お盆を過ぎると大分しのぎやすくなりますので、もうしばらくの辛抱ですね。通勤する道路側にひまわり畑が広がり、たくさんの黄色い仲間が元気にいってらっしゃいと言ってくれている気がして、今日も一日頑張ろうと思います。皆さんも些細なことにニコッと、クスッと笑える笑顔の素をちょっと心がけて見つけるというのはいかがでしょうか。あなたの笑顔が皆を笑顔にするかもしれません。
過日6月14日、第9回ミニ・フォーラム in なごみでは多くの参加をいただき、ありがとうございました。第10回もどうぞお楽しみに。（岡屋）